

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年7月19日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100641
法人名	株式会社 ケイシン
事業所名	グループホーム かがしま西太陽の家
所在地	鹿児島県鹿児島市西別府町2794-185 (電話) 099-296-1110
自己評価作成日	平成26年6月17日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかがしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年7月4日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然豊かな静かな環境で、季節を感じられる空間づくりに努めています。ご入居者様が生きがいをもって生活できるような支援(園芸・料理・裁縫・趣味)をしています。職員は明るく、常にご入居者様には敬意をもって接しており、向上心があり知識や取得に向け努力しています。ご家族の方の思いを受け止め、大切な人として最期までお付き合いをさせていただいています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・尊厳や人権を大切に考え、身体拘束をしないケアに取り組み、勉強会や研修会で資質向上を目指している。日中は玄関の施錠はせずに自由に出入りができ、見守り支援を行っている。
- ・利用者の思いや希望を取り入れ、食事や入浴・レクリエーション・外出を楽しめるように取り組んでいる。
- ・地域密着をめざし、自治会に入り総会に参加したり、地域行事の餅つき大会や蕎麦打ち大会・清掃活動に積極的に参加して地域とのつながりを大切にしている。野菜の差し入れや畑作りのアドバイスなど日常的に交流が図られている。
- ・防災訓練は地域住民と合同で炊き出し訓練を実施するなど、地域の理解と協力を得られている。
- ・協力医療機関と24時間連携体制が取れてをおり、重度化や看取りの支援を行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を掲示し、勉強会やミーティング等で確認し、職員が共通理解しながら介護サービスを提供している。	法人の理念と自分たちで考えた理念があり、玄関やホールに掲示し、パンフレットにも載せ、新人オリエンテーションや勉強会で確認し、振り返ったりして理念を基本に支援している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会へ入会し、地域行事などの催し物に積極的に参加させて頂いている。夏祭りや、行事へも地域の方が事業所へ赴き参加して頂くこともある。	自治会に加入し回覧板を通して情報の共有を図ったり、夏祭りの準備を手伝っている。地域の餅つき会や蕎麦打ち会・清掃活動に積極的に参加している。ホームの運営推進会議に地域代表の参加を得ている。災害避難訓練や非常時の炊き出し訓練など地域と合同で行っている。散歩の途中で近所の人達と話しをしたり、野菜や果物の差し入れやホームで収穫した野菜などを提供している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	事業所で行う行事等には地域の方々へ口頭や文書にて参加を呼びかけている。その際、施設での取り組みなどを説明し理解して頂くよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>入居者様の状況、行事予定等を報告し、ご家族、地域の方々等に助言を頂いたり、意見交換をしながら、サービス向上に努めている。</p>	<p>会議は定期的開催し、ホームの行事や現況報告・外部評価・災害予防訓練などの報告を行なっている。意見交換が行なわれ運営に活かされている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>事業所内で事故が起きた場合は速やかに連絡を取っている。また、日常的に報告・連絡・相談を密にし連携を図っている。</p>	<p>市担当者とは、書類の提出や更新などの申請時や不明な点等を相談する等、日頃から連携をとっている。運営推進会議の参加時にホームの報告をしたり、行政からの情報やアドバイスを得ている。福祉関係者との連携も図られている。市主催の研修会や集団指導にも積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束については研修や勉強会を通じて職員が共通理解をするよう努めている。入居者様の行動パターン等を把握し、一緒に付き添い、見守るケアを実践している。</p>	<p>身体拘束廃止マニュアルや指針があり、「一緒に付き添い見守るケア」を実践している。毎月の勉強会などで職員全員が共通認識し資質向上に努めている。勉強会で周知徹底し言葉による拘束にも気をつけて対応している。家で生活していたように自由に過ごせる環境作りを行い、日中は玄関の施錠もなく、外出希望の利用者には優しく見守り、付添い誘導している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内での勉強会、話し合い等で虐待防止の意識付けをしている。職員がサービス提供に当たり、ストレスが溜まらないようにストレスケアに努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	勉強会や研修会等で成年後見制度や日常生活自立支援事業について学び共通理解をしている。成年後見制度を利用されている入居者様がおられる為、円滑に利用できるよう支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居申し込み時や契約時に、ご家族へ説明を行なっている。不明な点を尋ねられた際には、その都度十分な説明を行ない、理解して頂いている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関に意見箱を設置し、ご家族等が意見や要望等を自由に記入できるようにしている。意見や要望等がある場合は、ミーティングや申し送り等で職員へ周知し、本社へも報告し運営に反映している。	利用者については入居時のアセスメントや日常会話・表情・態度から思いをくみ取るよう心がけている。家族からは日常のレクリエーションや行事の写真をそれぞれ封筒にいれ家族の来所の折に、それを基に現況を報告し話を聞いている。家族会や運営推進会議等で意見や要望も聞くようにしている。遠方の家族には毎月のたよりと一緒に郵送している。意見や要望は職員間で共有しケアに反映させている。意見箱も設置している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日々の申し送りや、毎月行なっている職員ミーティング、個人面談等で、職員の意見や提案する場を設けている。また、月1回の管理者会議にて要望等を代表者へ伝えている。</p>	<p>管理者は職員と仕事上や個人的な相談がいつでもできるような環境作りをしている。年2回、職員との個人面談を行い目標や人生設計など話し合っている。ミーティングやアンケートなど意見や要望・提案を聞く機会を設けている。毎月ある管理者会議で代表者へ報告し意見等を反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>各職員の経験や努力、実績等を把握し、やりがいのある仕事だと思えるように努めている。また、働きやすい環境をつくれるように要望等に沿えるよう努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修予定を回覧し、意欲的に研修に参加できるようにしている。研修に参加した後は、ミーティングで研修報告をし、質の向上を目指している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会に参加し、同業者との情報交換や意見交換を行ない、サービスの質の向上につながるよう取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者様の要望や不安等を傾聴し、入居者様ご本人が安心して生活していけるように、より良い関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族等の困りごとや不安、要望等を聴き、対応している。また、面会時等に情報交換を行ない、信頼関係を築いていけるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者様、ご家族からの意見や生活歴を参考にしつつ、要望に沿った支援を展開できるように、職員間で話し合いを持ち支援している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共同生活だが、個人の空間を大切に、安全で安心した雰囲気作りに努めている。日常生活において、料理、洗濯、掃除等職員と入居者様が一緒にできることを行ない、時間を共有している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話連絡等でご家族に情報提供を行ない、ご家族の思いを受け止め、連携して入居者様を支えられるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者様の馴染みの場所を把握し、ドライブや希望された時に訪問している。電話を掛ける際の支援を行ったり、面会時にゆっくり話ができるような環境作りをしている。	自宅に帰ってみたいとの希望で自宅訪問したり、近所の親戚や友人・行きつけの店などに立ち寄り馴染みの関係が途切れないように支援している。電話やハガキなども一緒に行っている。家族の支援を得て墓参りや外食・理美容室に行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	談話やレクリエーションの時間だけでなく、ホーム内の色々な場所に椅子を設置し、入居者様同時の交流がいつでも行えるようにしている。会話が困難な方には職員が間に入り支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	電話をしたり、季節のご挨拶のハガキを出したりし関係を続けている。ホームを訪れた際や相談のお電話にも対応し支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の思いに沿ったケアができるように十分に傾聴し、職員やご家族の情報と併せて、本人の思いの把握に努めている。職員間で話し合いを持ち、支援の仕方を検討している。	利用者と話せる機会を多く取り日常会話や表情から思いや意向を把握している。入浴でくつろいでいる時や夜の眠れない時・寂しい時に話を聞いている。内容を申し送りノートで共有し、本人中心の支援を心がけている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人から伺ったことを介護記録簿に記録して、職員間で把握するように努めている。ご家族からの聞き取りや、居宅支援事業所・病院等から情報提供書を取り交わし把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の過ごし方、心身の状況や健康に留意し、常に状況を把握し、その方に応じたケアが出来るように介護計画を立てている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	必要に応じて医師、看護師と連携を取りながら、入居者様のアセスメントを行なっている。定期的にケアプランを見直し、モニタリングをし、意見や提案を反映した介護計画を作成するようにしている。	本人や利用者から情報を得て、主治医の意見などを参考に介護計画を作成している。毎月モニタリングを行い、日々の申し送りノートの情報や家族・主治医の意見を聞き現状に即した介護計画にしている。職員からの情報や身体的・精神的な変化があれば、臨機応変にケアプランの見直しを話し合っている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人経過表などに毎日の記録を残し、本人の体調の変化や思い等の情報を職員間で共有し、日々の支援につなげ介護計画の見直しに生かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者様のニーズに沿った介護支援ができるように、ご家族との連携を密にし、柔軟な支援やサービスに努めている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣の方との会話の橋渡しを支援している。自治会の行事や会合、工芸教室等へも参加し、入居者様が社会と触れ合うことにより、楽しく豊かに過ごしていただけるように支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	希望があれば、かかりつけ医の定期受診を支援している。体調の変化がある場合は、かかりつけ医、ご家族、入居者様の話し合いが円滑に行われるようにし、医療機関等で適切な医療を受けられるよう支援している。	専門医やかかりつけ医への受診は本人や家族の希望の通りに協力している。往診は協力医療機関から月2回あり、看護師による医療機関との連携も図られている。緊急時や受診結果など家族への報告は電話で必ず行なっている。認知症専門医の往診もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日々の些細な事柄や、会話の中で知りえた情報だけでなく、突発的に行ったことなどを、看護職員やかかりつけ医に連絡、相談、指示をもらい対応している。状態に応じて適切な受診を受けられるようにしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>情報提供書を取り交わし早期対応に努めている。入院時だけでなく、各医療機関の相談員へ常日頃から連絡を取り、情報交換を行なっている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末期の取り組みについて職員で話し合いを重ね、勉強会を通じて終末期の支援の方針を作り上げている。早期に医療関係者を交えて、ご家族、職員との間で話し合いを持ち、適した対処と尊厳を持って介護にあたれるよう心掛けている。</p>	<p>指針・マニュアルがあり、入居時に説明し、同意を得ている。定期的に勉強会を開催し、希望があれば医療機関と連携し看取りまで行っている。看取りの事例がある。家族との信頼関係や医療連携・職員のチームワークの大切さを感じ、今後の運営に活かしている。家族との早めの話し合いや段階的な話し合いで支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時を想定し、対応や手当、初期対応の訓練を行なっている。消防署主催の救命講習も行なっている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練を月1回行っており、全職員がその場に遭遇した時に対応できるように努めている。消防署立会いのもと通報消火避難訓練も定期的に行なっている。</p>	<p>毎月、自主訓練を行い、年3回は消火・救命訓練を含めて消防署の指導で行っている。地域の住民も参加しての非常時の炊き出しも行なっている。避難場所も2ヶ所ある。備蓄用品や避難用具なども準備している。スプリンクラーや非常通報装置も設置済みである。居室の戸に移動手段を表示している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	言葉かけなど丁寧に自尊心を傷つけないように対応している。	人格を尊重し言葉かけには、十分注意している。勉強会を通じて日頃から意識の統一を図っている。トイレ誘導なども周りに気づかれないように優しく支援している。入浴時や日常会話でも自尊心を傷つけないような声かけ、個人記録の管理なども責任ある取扱いを徹底している。	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	入居者様が希望を言いやすい雰囲気作りに心がけ、ゆっくり話せる機会を設けている。同時に自己決定できるように支援している。		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	何がしたいかを尋ね、要望に沿った介護に近づけるように努めている。希望があれば、外出や散歩、買い物等も取り入れている。		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	本人の好みを尊重し、常に清潔を保てるように支援している。カットやカラーも入居者様の好みに応じて実施できるよう、美容師の方にご協力して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を楽しみにしていただけるように好みを取り入れ、献立を工夫している。食事の準備や片付け等、できる範囲で無理のないようにして頂いている。	入居時や定期的に嗜好調査を実施し、献立委員会が中心になり菜園や農園で収穫した野菜や米など、旬の物を使用している。利用者の力量に応じて準備や片付けを一緒に行っている。行事食や弁当など楽しみのある食事となっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量は常に記録をしている。食事は好みを考慮しつつ、バランスのとれた食事を提供している。摂取した水分量が少ない方はOS-1や好みの飲み物で水分補給をして頂いている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアのご案内、見守りを行なっている。必要に応じて歯科医より定期的な往診を受けていただいている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	お茶や食事前後のトイレのご案内をしている。排泄パターンを把握し、必要に応じてポータブルトイレを使用できるように支援している。	排泄状況をその都度記録し、それぞれの行動やしぐさを観察して適切にトイレ誘導や言葉かけをして自立支援のケアに取り組んでいる。夜間、各部屋で必要に応じてポータブルトイレを準備しているができるだけトイレ誘導をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分を多めに摂っていただいている。お茶や食事時に食物繊維の多い食材をお出しして便秘予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	本人の体調や希望に合わせて入浴をしていただいている。入浴をされない時は、清拭や足浴を行ない、リラックスしていただけるように支援している。	入浴は基本的に週3回であるが、本人の体調や気分に合わせて支援している。希望により毎日入浴を楽しんでいる利用者もいる。清拭や足浴・手浴も行なっている。入浴が楽しくなるような雰囲気作りもしている。入浴をいやがる利用者へはタイミングや介助者の交代など工夫している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	毎日の体調や変化を把握し、必要に応じて休息のご案内をしている。無理のない程度に散歩やレクリエーションを取り入れ、生活のリズムを整え安眠できるように支援している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの薬を把握し、誤薬がないように服用前の確認をしている。症状の変化がある場合にはかかりつけ医に連絡し、薬の用量等について指示をいただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの好みを把握し、料理の下ごしらえや買い物、談話、散歩、畑作業等を取り入れ、無理なく楽しく出来るような支援を行なっている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	入居者様の希望に沿って買い物や、散歩、ドライブができるように努めている。ご家族の方に入居者様の希望をお伝えし、協力して外出や外泊ができるように支援している。	日常的な外出支援はホーム周辺の散歩や近くのスーパーマーケットへの買い物同行をしている。家族の協力を得ながらドライブや自宅訪問・墓参り・外泊など、行なっている。希望があれば、日頃行けない所にドライブをして楽しみの機会を作っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を所持している方や、買い物に行く際は、支払い等見守り支援している。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	入居者様の希望があった場合は、電話や手紙のやり取りの支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	その時々季節に合った壁面作りを行ない、生活感のある環境作りを支援している。常に清潔を保ち、居心地良く過ごしていただくように努めている。	共用空間は採光もふんだんに取り入れて明るく、風通しが良く、夏は涼しく快適な生活環境になっている。利用者で作った作品が季節に応じて壁に飾りつけがある。テレビの前にゆったりくつろげる大きなソファが置かれ、自由にくつろげる。メダカや小動物が飼育されており、餌やりが利用者の楽しみとなっている。清潔感のある居心地の良い空間となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者様の好きな場所で過ごすことができ、気の合う方との談話、テレビ鑑賞ができる等、思い思いに過ごしていただけるように工夫をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた物や思い出の品物等を持参していただき、使いやすく居心地の良い部屋で過ごして頂いている。	居室は特殊寝台やダンス・洗面台・エアコンが設置されており、部屋は広く、利用者の仏壇や使い慣れた家具・写真・飾り物を持ち込み、居心地よく生活している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	浴室、トイレ、廊下には手すりを設置し、安全に過ごしていただけるように工夫している。各部屋の入口には名前や写真を表示し自立した生活が送れるように工夫している。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない